

# 2024年度 東京応化科学技術振興財団 個別報告書 11

開催日時	2024年10月26日(土)		開始時間	10:00	終了時間	11:30			
開催場所	横山こどもセンター								
実施内容	アルソミトラ主翼バルサ紙飛行機								
人数	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	計
	3	12	7	2	0	0	0	0	24
スタッフ	4名	実施機関スタッフ			4名	付き添い 5名			

- 1 概要：今回はグライダーのモデルとされるアルソミトラ種子の形状を模した主翼を持つバルサ紙飛行機のモデルを使った初めての講座になる。中心となって開発を進めてきた会員が進行役となり、このモデルの初回ということもあり念入りに準備を進めてきた成果もあって、講座は順調に進められた。
- 2 実施内容：当初20名の参加予定だったが、急遽参加希望が増え、8台のテーブルに24人の児童が3人ずつ座ってもらい、2台のテーブルをそれぞれ一人の会員が担当した。
  - ① PPTの画面を見ながら、始めにバルサ紙飛行機の説明を聴いてもらい、その後画面を見ながら工作を進めて行く方法で行った。
  - ② 出来上がった飛行機を、隣接する小学校の校庭を使わせてもらい、広い場所で思い切り飛ばす体験をしてもらい、児童たちの元気な姿が見られた。
- 3 良かった点、課題点など
  - ① PPTの内容や、講座の進め方について事前に念入りに準備を重ねてきた甲斐があり、おおかた順調に進められた。
  - ② 講座開始の前には、紙飛行機のようなものをイメージしていたらしいが、テーブルに並べられた材料およびPPT画面で見る本格的なモデルに触発され、やる気満々になった児童が多かった。
  - ③ 主翼・尾翼取付けでは、バルサ紙飛行機I型と比べると部品点数が増えるが、接着乾燥待ち時間を特に取らずに進められたことは良かった。
  - ④ 主翼・補強材の接着面積が広がっているが、接着剤を塗る手作りブラシや小皿が役に立った。課題としては、未就学児および小学校低学年生が90分の講座の中で取り組む工作として、工作内容、進め方についてさらに工夫を重ねていく余地が多いように感じられた。
    - ① 児童は早く飛ばしたいという気持ちが強いためか、説明を待たずに主翼を胴体に接着した児童が大変多かったために主翼だけで飛ばすとどうなるのかを体験してもらおうという進行役の思惑が外れたしまった。この点は、今後手順をしっかりと説明して理解してもらう必要がある。
    - ② 接着する位置を間違える児童が多かった。また、接着剤が不要な場所に誤って付けてしまい、翼がへなへなになるケースが多く見られた。
    - ③ 校庭で飛ばした時に、きりもみ飛行になったりして、上手く飛ばない飛行機の多くは翼がへなへなになっているケースが多かった。接着は事前に済ませておくことなど検討したい。
    - ④ 接着剤用ブラシ、薄めたボンドの準備は良かったが、後片付け時に手洗い場の作業に手間取った。使い終わった直後に水に漬けるタッパー容器などを準備すると良いと思われる。

